

平成25年度 学校評価シート

学校名：和歌山県立串本古座高等学校古座校舎

校長：安岡勝彦

目指す学校像 ・ 育てたい生徒像	豊かな心と確かな学力を身につけ、礼儀を重んじ、個性の伸長をはかることで、地域や社会の形成者として貢献できる人間を育成する。
------------------------	---------------------------------------------------------------

本年度の重点目標 (学校の課題に即し、精選した上で具体的かつ明確に記入する)	1 キャリア教育を中核とした指導の充実
	2 基本的生活習慣の確立と基礎学力向上
	3 自主活動の活性化
	4 防災教育、ESD等の取組を柱とする地域との連携

達成度	A	十分に達成した (80%以上)
	B	概ね達成した (60%以上)
	C	あまり十分でない (40%以上)
	D	不十分である (40%未満)

学校評価の結果と改善方針の公表の方法
本校HPに掲載する。

(注) 1 重点目標は3～4つ程度設定し、それらに対応した評価項目を設定する。 2 番号欄には、重点目標の番号を記入する。 3 評価項目に対応した具体的取組と評価指標を設定する。
4 年度評価は、年度末(3月)に実施した結果を記載する。 5 学校関係者評価は、自己評価の結果を踏まえて評価を行う。

自己評価					年度評価 (3月6日現在)		
重点目標					達成	次年度への課題と改善方針	
番号	現状と課題	評価項目	具体的取組	評価指標	評価項目の達成状況	達成	
1	個別指導により一定の成果をあげているが、全員が進路実現を果たすまでには至っていない。キャリア教育の観点から、目的意識を明確に持って進路実現に向け努力できる生徒の育成に努めていく必要がある。	・進路実現に向けた具体的な指導や取組が行われているか。 ・3年間を見通した系統的なカリキュラム、授業内容となっているか。	・キャリアカウンセリング。 ・面接指導、個別の補習等。 ・英検、漢検、日本語検定等各種検定の実施。 ・サテライト講座等の開講。 ・体験的な学習の実施。「キャリアリレー」インターンシップ等	・全員の進路実現。 ・進路ガイダンス、講演会等を等々全学年で開催。面接指導一人5回以上実施。三者面談を生徒全員が実施。検定複数回実施。サテライト講座受講生倍増 ・2年全員2日間のインターンシップ、及び全員の「キャリアリレー」学習の実施。	・未定者(就職1名、進学1名 3/25現在) ・概ね予定どおり実施できたが、三者面談は保護者の都合で実施できない場合があった。また、サテライトの受講者は倍増にはならなかった。 ・予定どおり実施できた。	B	・進路実現に向けた生徒への働きかけをさらに早い時期から行う必要がある。就職指導についてはハローワークや地域若者サポートステーション等関係機関等との連携を深めながら個別の対応を重視する。 校舎間の情報共有、連携にやや課題が出てきており、よりスムーズな運用にむけ見直しを行う。
2	生活規律に課題のある生徒がおり、引き続き組織的取組が必要である。 生徒の学力差が大きく、進路希望も多様である。 授業力向上に努め、生徒一人ひとりに応じた効果的な指導を組織的に展開することで、基礎学力の定着、主体的に学習に取り組む態度の育成等を図る必要がある。	・身だしなみや、マナー、校則の遵守、基本的生活習慣の確立等の指導が、組織的、継続的に行われているか。 ・教育活動全般について、生徒一人ひとりに応じた適切な指導が行われているか。 指導法の改善に向けた研修等が行われ、成果としてあらわれているか。	・定期的な身だしなみ指導。 ・校門指導等の実施。 ・校内美化の取組。 ・警察署、保健所、関係機関等との連携。 ・生徒の学力の把握と個別指導。 ・家庭学習定着に向けた指導。 ・研究授業、校内研修の実施。 ・授業規律確立のための取組。 ・生徒による授業評価の実施。 ・教育サポート委員会、HR・教科担任等連絡会議の開催。	・全校集会以学期に2回以上実施。授業開始前にも実施。 ・登校時、昼休憩時に毎日実施。 ・学期に複数回大掃除の実施。 ・交通安全、薬物、情報モラル関係学習会等を各1回開催。 ・年2回の基礎力診断テストの実施と分析。 ・宿題コーナー設置と活用。 ・全教員の研究授業の実施、及び授業研究会の開催。 ・授業前教室内学習環境の整備。チャイム着席80%以上。 ・年1回授業評価の分析と活用。 ・サポート委員会等を学期に複数回開催。	・概ねできた。 ・昼休憩時はできない場合もあった。 ・概ねできた。 ・実施できた。 ・実施できた。 ・十分活用できないこともあった。 ・実施できた。 ・概ねできているが、教室の環境整備がやや十分でないときもあった。 ・方法を改善し実施できた。 ・実施できた。全職員参加で特別支援教育校内研修を実施した。	B	・身だしなみや基本的生活習慣の確立にむけ課題のある生徒への個別の対応を強化し規範意識の向上を図る。 ・いじめ撲滅にむけ、人権学習等に取り組むとともに、学期ごとのアンケートを実施し徹底したいじめの防止の取組を行う。 ・教育相談及びサポート委員会の機能強化を図る。 ・種々の取組の結果や分析、評価について教員間で十分活用できるような手立てを考える。 ・生徒の主体的な活動を促すことにより校内美化に努める。
3	行事は活発に行われている。クラブの選択肢が少ないが、校舎間の交流も活発になってきている。 ESDの観点を生かした学習・体験活動等に取り組むことで、生徒の思考力、情報収集・分析能力、コミュニケーション能力等の育成に努めたい。	生徒の自主的、自立的な活動ができているか。 ESDの観点を生かした学習、体験活動等が行われ、成果を共有するための発表、表現の場が設定されているか。	・エコキャップ、プルタブ回収運動の取組。 ・各種行事の企画、運営。 ・ESDに関わる種々の取組。教科学習フィールドワーク成果発表会等の開催。	・車いすを購入し寄贈する。 ・生徒会が体育祭、文化祭、クラスマッチ等の運営に関わる。 ・ESDの観点を取り入れた各教科での研究授業を全教員で実施。 ・地域の世界遺産、文化財等を教材にした学習及びフィールドワークの複数回実施。	・車いすを購入するまでには至っていない。 ・生徒会が中心となって企画運営に関わることができた。 ・全教員による研究授業は実施できた。 ・1年生を中心にフィールドワークを実施した。	B	・ESDについては学年の意識を高め「総合的な学習の時間」等に計画的に継続して取り組んでいけるようにするとともに事前事後の学習を充実させ内容がより深まるように工夫する。 ・研究授業後の成果を全体のものとするために次年度は教科を絞って研究授業を実施、参観、協議の時間を確保して内容を深める。
4	津波に対する備えが喫緊の課題である。地域と連携しながら取組を推進し、さらに生徒の安全確保に努めたい。	生徒の安全確保のための具体的な取組が行われているか。	・津波から逃れるための訓練等を軸にした防災学習の実施。 ・定期的な校内安全点検	・避難訓練を年4回実施 ・地域と連携した防災避難訓練を実施。 ・月1回の校内安全点検の実施	・防災スクールの一環として地域や小学校と連携した学習を行った。 ・毎月の実施はできなかった。	B	・訓練の回数だけではなく、内容について見直す必要がある。高校生の指導による防災スクールは有意義であるので継続したい。

学校関係者評価
平成26年2月14日 実施
学校関係者からの意見・要望・評価等
<p>〈学校関係者評価〉</p> <p>A：そう思う。どちらかというそう思う。 B：そう思わない。どちらかというそう思わない。</p> <p>①本校の教育方針や教育指導目標の重点が分かりやすく示されていると思いますか。 A：80% B：20%</p> <p>②本校は保護者や地域の方々との情報交換や意見を取り入れ活かす機会を設けていると思いますか。 A：80% B：20%</p> <p>③本校では、多様な生徒に対応するために、進路に関する情報提供が十分に行われていると思いますか。 A：89% B：11%</p> <p>④本校には、他の学校にない特色があると思いますか。 A：86% B：14%</p> <p>⑤本校は地域等の活動に対して協力的であると思いますか。 A：80% B：20%</p> <p>⑥本校では、生徒の状況に応じ、充実した授業が行われていると思いますか。 A：83% B：17%</p> <p>⑦本校では、基本的生活習慣や規範意識を身に付けるため適切な指導が行われていると思いますか。 A：97% B：3%</p> <p>⑧本校の学校行事等は活発に行われていると思いますか。 A：89% B：11%</p> <p>⑨本校では、生徒会活動や部活動に熱心に取り組んでいると思いますか。 A：83% B：17%</p> <p>⑩本校では、生徒の健康や安全に関する指導が適切に行われていると思いますか。 A：92% B：8%</p> <p>⑪本校では、校舎、校庭、教室の環境美化や整備ができていますか。 A：94% B：6%</p> <p>⑫本校の生徒は、明るく生き生きと学校生活を送っていると思いますか。 A：89% B：11%</p> <p>《意見要望等》</p> <p>学校関係者35名(P T A役員、学校評議員)の本校に対する評価は上記のとおり概ね好評である。</p> <p>個別の意見として、習熟度や個別指導などのきめ細かい指導や、行事等への積極的な取組への評価がある一方で、クラブ活動の専門性の向上、進路指導の一層の充実等の要望があった。</p> <p>また、地域の小中学校との連携強化。串本校舎とのさらなる交流の推進。両校舎の統合を提案する意見もあった。</p>

